

【資料14】情報誌「三遠南信ガイドブック」



発行所 三遠南信地域連携ビジョン推進協議会(SENIA) 発行日 平成22年3月25日



三遠南信の 今昔

交易が盛んな時代

日本列島を東西に走る幹線道路の旧東海道や旧中山道などに対して、日本海と太平洋を結ぶ南北軸の一つとしてよく知られているのが「塩の道」です。地域によって千両街道・松本街道・信州街道・秋葉街道・三州街道などの街道は、古代は黒曜石の道として、中世や近代には物流・信仰の道として、また戦国武将が通った道として知られ、物資輸送に限らず、人々の交流や芸能などの文化伝播の重要な役割も果たしてきました。かつて三遠南信地域で盛んに行われた交易は、こうした道を介して行き交う人々が積み重ねた歴史の中でよく知られてきました。

三遠南信地域を縦断する「塩の道」

秋葉街道（別名信州街道）は、天竜川と並行して走る国道152号とはほぼ重なり、遠州の浜松から信州の諏訪を結ぶ街道として知られています。この秋葉街道は、秋葉神社と諏訪神社を結んだ信仰の道で、塩のない信濃国に相良（現牧之原市）の塩を運んだことから「塩の道」と呼ばれています。また、吉田（現豊橋市）からも遠州街道（現在の国道151号）や三州街道を使って信州の塩尻まで三河の塩が運ばれたことから、これらの街道も「塩の道」と呼ばれています。太平洋沿岸で取れた塩は船に詰められ、馬の背に乗せて運ばれましたが、山間部の境目で一旦降ろされて、険しい峠越えに背と小ぶるな俵に詰め替えられ、再び馬の背に乗せて峠を越えたといわれています。この三遠南信地域には、「塩」という命の道が運んだ、重要な道が今も残っています。

廃藩置県による その後の三遠南信地域

江戸幕府を倒して樹立された新政権の明治政府は、版籍奉還を行い、明治4年(1871)廃藩置県を断行しました。これによって全国で300ほどあった藩が一挙に消滅し、それに代わって県が置かれることになりました。この三遠南信地域には、静岡県・福井県(後の高松県)、豊橋県、幸原郡、田原郡、高遠郡、飯田郡などが置かれましたが、県の数はその後変動し、現在の3県の形(愛知県・静岡県・長野県)に落ち着いたのは5年後の明治9年のことでした。この廃藩置県により失業した武士たちの経済事業として行われたのが、牧之原台地の開拓で、ここには茶畑が造成され今日まで続いています。天竜川の舟運が、本格的に活躍するのは明治になってからで、王子製紙の気田工場や中部工場から「紙舟」が、久根、峠之沢龍山の「紙石舟」が、風に帆を翻らせて川を上り下りしたといわれています。大正から昭和初期にはより多くの舟が往来し、

プロバウを使った舟も使われるなど、大量の物資が往来し活発な交流が行われたことが分かります。

また、戦国時代には今川義元や武田信玄の領土に組み込まれたこともあって、東三河地域は歴史的に遠州や南信州(伊那地方)との繋がりが高く、とくに遠州地域とは非常に強い繋がり関係にありました。とくに飯田線が開通すると、交流は一層活発になりました。この三遠南信地域は歴史上からも交流を深める条件を持っていたということがいえます。



明治以降の 産業の立地・集積の時代

三遠南信地域の産業発展の歴史は、天竜川・豊川の2本の大河とともに歩んできました。河川の利用方法は、古くは舟運や筏流しが主流でしたが、明治以降はエネルギーの生産に比重が移り、小規模ではありましたが水力発電所が2大河川の水系各所に建設されました。この電気事業の開始によって、豊川鉄道・風来寺鉄道・三信鉄道・伊那電気鉄道などの電気鉄道が開通され、昭和18年(1943)には、これらの4私鉄を統合し国有化することで、この地域の大動脈ともいえる飯田線が開通しました。これによって3地域の交流は一層発展し、電線開拓のための鉄道が建設され、戦後には在久岡発電所と佐久岡ダムが建設されています。さらに下流域では大規模な灌漑用水が作られ、農業の発展に寄与するなど、この事業が果たした役割は大きなものがあります。明治政府が農産業を奨励したこともあって、三遠南信地域では、明治から昭和にかけて養蚕製糸が盛んに行われていたことも

忘れてはなりません。養蚕製糸業は現在衰退してしまいましたが、養蚕の玉糸製糸は昭和30年代には全国の3分の1を生産するほどの活況を呈していました。現在、東三河地域は、平成9年に豊橋港・南都港・田原港が一本化され、国際貿易港「三河港」が誕生したのを始め、豊橋港の再開発や数合マリノリゾート施設「ラグーナ南都」の建設など着々と都市整備を進めてきています。また、南信州地域は、中核都市の飯田市を中心に人形劇や豊かな自然や風土を活かした観光やエコツーリズムの拠点として、モデル地区に指定されるなど、新たな道を切り開きつつあります。遠州地域は、明治22年(1889)に東海道線が開通すると、浜松には繊維工業と楽器工場が多く集まるようになり、戦後は東海道新幹線や東名高速道路が建設され、この地域は東海地方の農業と工業の両輪として発展し、昭和59年に浜松地域テクノポリス計画が承認されました。浜松市は平成19年には政令指定都市の特別入りを果たしています。



三遠南信自動車道が繁ぐ... 古代からあった地域の交流をもっと身近に。

三遠南信自動車道は、飯田市と浜松市北區を結ぶ延長約100kmの高速幹線道路で、「一般国道四七四号の自動車専用道路」として計画され、全線早期開通を目指し着実に整備が進んでいます。完成すれば南信州と東三河・遠州地域との時間的距離を大幅に短縮するため、新たな観光資源の活用・産業の発展・酒蔵地域の振興など、地域をまたいだ広域的な経済・文化圏の形成に大きく寄与することが期待されています。

三遠南信地域の交流の歴史は古く、縄文時代からさかのぼると言われています。「塩の道」(塩の道)や「舟の道」(舟の道)、「秋葉街道」(秋葉街道)の創始、天竜川の舟運を通じて、江戸時代には馬車道(中尾街道)が物流の重要な軸をもち、また「塩の道」の発展に大きな役割を果たしました。近代になると自動車交通を支える道路整備の進められ、行政区域の境目がなくなり、地域間の交流は次第に緊密さを増してきています。そこで、新しい「塩の道」や「舟の道」を復活させ、新たな「鹽の道」を創造しようという気運が高まり、かつての秋葉街道や天竜川に代わって三遠南信自動車道の開通に大きな期待が寄せられています。





新居間所
国特別史跡。正式には「今切間所」とい、慶長5年に設置された。全国で唯一現存する間所建物。



御油の松並木
御油宿西端から赤坂宿東端までの約800メートル(275本)にわたり、樹齢300年以上の松が多く残った松並木。東海道中納屋敷の中で、赤坂宿に一番多く残った松並木と化かされたという場所。



旅籠・大横屋(東海道 赤坂宿)
1715〜16年(正徳5〜6)頃の建築で、旧屋号を継ぎと称す。間口9間、奥行き23間ほどの大横屋であり、広東の描いた浮世絵の面影を色濃く残している。東海道沿いで唯一現在も営業を続けている旅館。
〒410-0801 松原市赤坂町127 電話 0533-87-2430



小川路峠(秋葉街道)
飯田市千代と通山上村を結ぶ峠。秋葉街道の脇道の一つとして、峠を越えた先は飯田市松原で中馬街道と交わる。小川路峠は標高1645メートルの峠。



大鹿村大河原地区(秋葉街道)

東山道

東海道と並び鎌倉の官道(古代の7つの道)の一つであり、当時の奥羽開拓のための重要な交通路であった。現在の中央自動車道の神奈川パーキングエリア付近から、阿智村を通り天竜川を遡上するルート。全国に多くある街道の中でも、唯一原型らしきものをとどめている。

街道浪漫 Highway romance

浜松市北区三ヶ日町(秋葉道本宿跡)
江戸時代の東海道の脇街道の一つ。当時のメインストリートには、鈴や川越えなどの贈所、新しい間所があった。



表 遠州から東三河地域には鈴掛・長付・高松・真海・新居の宿場が並び、二河・赤田・御油・赤坂など、道に宿場が並び、江戸や京都、大坂の物資や人、文化の交流に大きな役割を果たした。

近 東海道の長付宿から浜名郡の牧野を通り本宿跡を経て御油へ抜ける東海道の脇街道。宿場宿は数軒ありが賑わい、ここで宿をとり、それを継いだ女性が多く利用したこと、宿場宿の名がつけられたといわれている。

秋 三州街道飯田八幡宮を基点として、遠山町を経て火の神さま秋葉神社の参道に伸びた脇街道とみられる。通信古道は徳川時代からの道の道といわれる。

秋 秋葉街道と並ぶ太平洋側の「佐の道」として有名。江戸時代には通信の道として盛んに利用された。東海道の岡崎宿から三河尾島を経て飯田から伊豆谷を経て中山道の塩尻宿とを結んでいた。別名伊豆街道、飯田街道、中馬街道ともいわれる。



秋葉の火まつり
秋葉神社・秋葉寺で行われる伝統的の火祭り。浜松市東部の秋葉山(標高866メートル)は、古代から信者がこの山を目標し、その頂が「秋葉街道」と呼ばれ、今も県内外から多くの参詣者を集めている。
〒410-0801 松原市赤坂町127 電話 0533-87-2430

三遠南信 豊かに蘇る日本の文化



花祭り(愛宕町二重祭り)
「重祭」即ち「重祭」の愛宕町二重祭り。鎌倉・室町時代に山姥や怪獣等によって伝えられ、アフリカや南米に渡り伝承されてきた。生命の復活を祈る神事。11月13日にかけて町内11か所を回遊される。
〒410-0801 松原市赤坂町127 電話 0533-87-2430

花祭会館
花祭り(山姥・怪獣・祭具・古文書)の展示や、映像資料を用いてわかりやすく紹介する施設です。
〒410-0801 松原市赤坂町127 電話 0533-87-2430

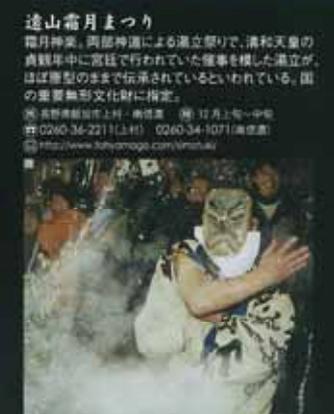
花まつりの館
地元NPOが施設を利用して「花祭り」の貴重な映像や資料を展示しています。写真集では、市内数箇所の「花祭り」の作品を展示しています。
〒410-0801 松原市赤坂町127 電話 0533-87-2430



手筒花火
東三河地方発祥の花火で、五穀豊穡、無病息災、家運隆盛、武運長久を祈り受け継がれた手筒花火は、奉納者自らがその製造から燃放までの全工程を手作りで行う数ある花火の中でも特異な東三河の伝統文化。
〒410-0801 松原市赤坂町127 電話 0533-87-2430

炎の祭典
東三河伝統の手筒花火約290本が燃放され、轟動の炎、感動の会談が見る人々の心を揺さぶる。
〒410-0801 松原市赤坂町127 電話 0533-87-2430

豊橋祇園祭
吉田神社境内で手筒花火約300本、豊川河畔で打ち上げ花火約12,000本を奉納。夜空を彩る勇壮な花火は、天空にひそむ悪魔を吹き飛ばす農具の手法と伝えられている。豊橋の夏の風物詩として親しまれている。
〒410-0801 松原市赤坂町127 電話 0533-87-2430



遠山雷月まつり
雷月祭。岡部神社による雷立祭りで、清和天皇の貞観年中に宮廷で行われていた儀式を模した雷立が、ほぼ原型のままで伝承されているといわれている。国の重要無形文化財に指定。
〒410-0801 松原市赤坂町127 電話 0533-87-2430

天龍村の雷月神楽
天龍村の南方(むかがた)、塚部(さかべ)、大河内(おほこうち)の各地区で行われる雷立を総称して、天龍村雷月神楽という。国の重要無形民俗文化財に指定される。
〒410-0801 松原市赤坂町127 電話 0533-87-2430



標高差 3,000mの 多様性

三遠南信には、登山やスキーが楽しめる中東アルプスや南アルプスがあり、太平洋沿岸では、釣りやサーフィンのこのマリンレジャーが楽しめます。標高が1メートルから3,000メートルの標高差の中に、変化に富んだ気候や地形があり、豊かな自然環境の中でさまざまな自然の恵みを感じることができます。

標高差を活かした山上げ農業

三遠南信地域には、湿度が低く5度以下の状態が1週間以上続く、花になる芽をつけるという花卉の特性を利用した農法があります。低地で植えた植物を、標高の高い寒冷地に移動して花芽の分化を促し、再び平地に移して収穫するというこの農法は「山上げ農業」と呼ばれています。

中央アルプスと南アルプスに挟まれ、天竜川がその間を流れる南信州地域では、高地を利用して古くから洋蘭の山上げ農業が行われていました。夏の高湿時期に、花芽のついた洋蘭の株を、深美平島から根羽村や売木村などの高冷地に移して開花を促し、他の地域よりも早い時期に出荷することで、販売効果を高めています。

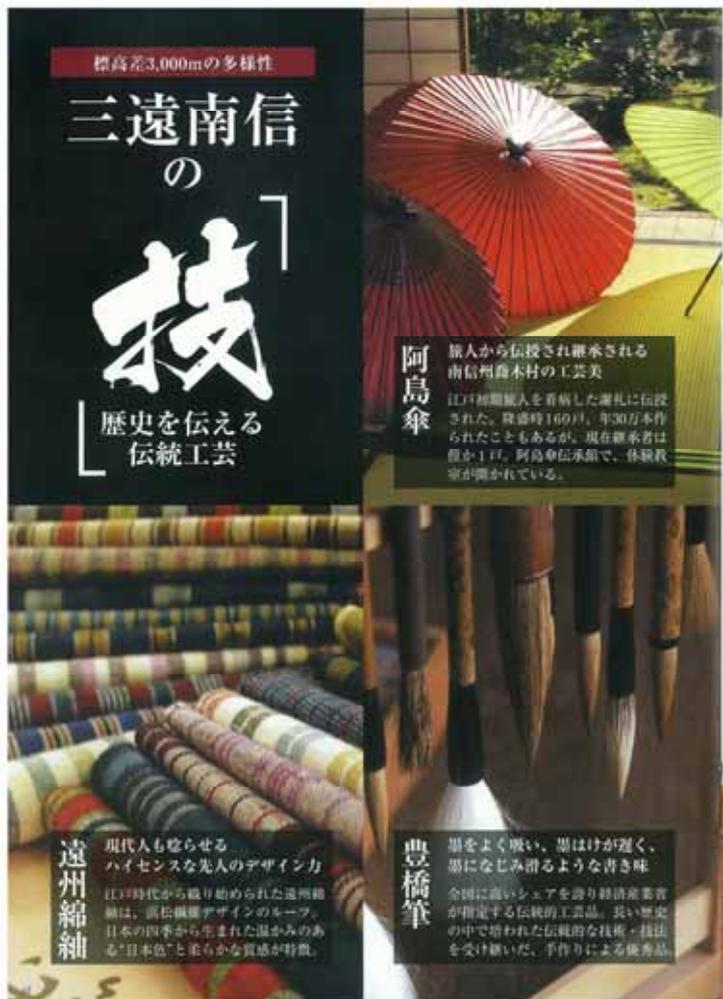
一方、南信州の飯田市のすぐ北、高森町では今から100年前に遠州からミカンの栽培技術が伝わり、寒い信州で、みごとミカンのハウス栽培

(鉢植えと地植え)に成功しています。この地域は遠州よりも約2ヶ月早く冬が到来しますが、この寒さのおかげで花芽の分化が早まり他地域よりも早く実を結ぶことから、積度の高いミカンを早い時期から出荷することができます。

また、南信州の寒さを逆手にとった洋蘭の山上げやミカン栽培以外にも、はほおき栽培なども行われており、標高差3,000mを活かしたこの地域の農業は、三遠南信地域の特色の一つとなっています。



洋蘭の山上げ
深美地方の田原の洋蘭は、夏の間、南信州地域で育てられます。夏の間、標高が高い山打たる休耕田を借りて、洋蘭をトラックに載せて運びます。夏の時期、この地域では鉢植えの洋蘭が咲きつづけた姿を見ることができます。



標高差3,000mの多様性

三遠南信 の 技

歴史を伝える
伝統工芸

阿鳥傘

旅人から伝授され継承される南信州森木村の工芸美
江戸初期旅人を看病した薬札に伝授された。慶應時169年、年30万本作られたこともあるが、現在継承者は僅か1戸、阿鳥傘伝承館で、体験教室が開かれている。

遠州綿紬

現代人も愛されるハイセンスな先人のデザイン力
江戸時代から織り始められた遠州綿紬は、浜松織物デザインのルーツ。日本の四季から生まれた温かみのある「日本色」と柔らかな質感が特徴。

豊橋筆

墨をよく吸い、墨はけが遅く、墨になじみ滑らかな書き味
全国に高いシェアを誇る経済産業省が指定する伝統的工芸品。長い歴史の中で培われた伝統的な技術・技法を受け継いだ、手作りによる優良品。



森の武家風

江戸時代、時の幕主「土曜夜魂の守」の義子の祝いに風を揚げたことに出発すると伝えられる。



森山焼

閑静な森山の麓に造る窯元が生み出す伝統の芸術
明治42年、中村秀吉氏によって創始された静岡県下最大の窯場。小瀬遠州七宮のひとつである志戸呂徳三の流れをくみ、各陶房がそれぞれに創作した作風は民芸品から芸術品へと高められた。

びんご織り

びんごは「織々」とも書き、松風の音を表現したもの。足利将軍義隆が松の木の下で「浜松の音はびんご」と詠んだ。



水引

飯田水引は、祝儀の折に用いられる金封飾りや結婚飾りとして知られる伝統工芸品。和紙を素材とし、糊で色染めたもの。長野冬季パワリングでは水引で作った月柱冠が飾りに使われた。

鳳来寺硯

鳳来寺の表参道で今なお作り続けられる伝統の技
鳳来寺山で採れた、金鳳石・鳳鳴石・雙龍石で作られた硯。鳳来寺の歴史は古く、1300年ほど前に鳳来寺山の洞窟である利修仙人のころから作られたものと伝えられている。



飾り馬



駿様の白馬を模して作られた漆器の民芸品。古くから子供の健康を願う贈り物として知られている。

標高差3,000mの多様性

山・川・海が織り成す 三遠南信食材御膳



自然薯「夢とろろ」

最上級ブランドの自然薯。粘りが強く、香りや味にすぐれていて、疲労回復などの健康食とも言われています。

大あさり

伊良湖観光の名物グルメ。一度食したらもう一度食べてみたい一品。磯の香りと醤油の香ばしさに満ちた焼きたてを味わうのがおすすめ。



天狗なす

愛知の伝統野菜に指定された普通サイズの約5〜10倍の大きさ。やわらかくて美味しくユニークな茄子です。

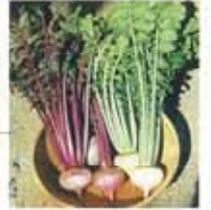
ていざなす

7月〜11月まで収穫でき、大きいものは1kgにもなります。大きくても種が小さく、実が柔らかくて甘味が強いのが特徴。1本の木から10本ほどしか採れない希少野菜。焼きナスがオススメ！



親田辛味大根

黒のような扁平の球形をしており、とても辛く、そばの美味に絶頂。青首大根に比べ、辛味成分イソチオシアネートを4倍近く含んでいます。



篠原のたまねぎ

新年早々、日本一早く出荷する「白たまねぎ」。

甘々娘(トウモロコシ) 梅ロに匹敵する18度の糖度が自慢のトウモロコシ。



エシャレット

真珠のように白く光沢のある美しさが特徴です。

三方原馬鈴薯 三方原台地の赤土が育む馬鈴薯の王様。

浜名湖ドーマン(蟹)

ワタリガニの仲間。高級食材であり、浜名湖は多く漁獲される地域の北限。旬は夏。浜名湖では甲羅が丸いので「甲丸」とも呼ばれ、「割丸」がなまって「ドーマン」とよばれるようになりました。



標高差3,000mの多様性

素材を活かして 三遠南信逸品館

三ヶ日産 風来特産 梅づけ・梅ジャム

三ヶ日産 風来特産 梅うどん

爽やかな酸味と香りが楽しめる風来産の梅を用いた食品数々。

うずらプリン

うずらの卵を使って作ったプリンです。鳥糞は鶏(うずら)の卵の生産額日本一です。



青島みかんゼリー

三ヶ日産の青島みかんを、そのままゼリーにしたフレッシュで贅沢なデザートです。

手作りあおしまくん

三ヶ日産の青島みかんの中から、大粒のみかんを使い、そのまま果汁にしたものです。丁寧な手作業でつくられています。

みかんペースト

みかんを搾るのではなく、消化分解酵素を使って、皮までまるごと「溶かす」ことでペーストにしました。

ドイツパン・クーヘン

豊根産ブルーベリーの天然酵母で作った珍しいパンもあります。※その他、豊根産の食品・調味料も取り扱っています。

ブルーベリージャム

ブルーベリー 豊内産一の産額 豊内産一を誇っています。

ブルーベリー

豊内産一の産額 豊内産一を誇っています。

三ヶ日みかん

全国に名を轟かせるにんじきわいのみかん



コーンスープ

濃厚なコーンスープ、カレーも開発されているが、希少産物が多く村内外には流通していません。



市田柿

もっちりした食感と口に広がる上品な甘さは、市田柿ならではの、ビタミン、ミネラル、ポリフェノール、食物繊維などの栄養素も豊富で健康食品としても注目されています。

ゆずチョコレート

風味豊かな南信州豊原村産物のピールをバレンタインチョコレートでコーティング。ほろ苦いゆずの味と香りが大人に大人気。

ゆず果汁

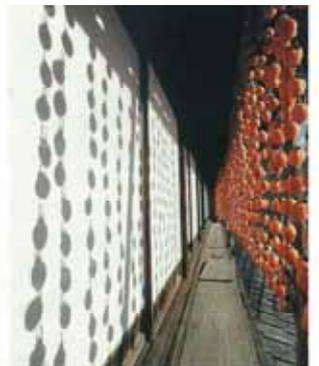
天龍村のゆずを搾った果汁100%。焼き魚にかけたり、お粥のたれに加えたり、お菓子や紅茶の香りづけにも良いです。

鮎のしぶうるか

水のきれいな川の吾を食べて育つ鮎は、川の香りがするため香魚とも言われます。その鮎の内臓を塩漬けにして作ったうるかは日本酒の肴として、又料理の隠し味として幅広く使われています。

鮎の子うるか

内臓で作るうるかに対し、卵と白子を塩漬けにした珍味です。



特すだれ(イメーション)

南信州は名産「市田柿」発祥の地。豊原の村子に伝わる特すだれは、秋の風物詩となっています。

※豊原産物でもお土産品として、村で取り扱っていません。



ゆべし

新製ゆべしをまるごとくりぬいた中に、ごま、くるみ、みそ等をつけて蒸しあげた純自然健康食品。長野県産物振興協会の認定品です。





チェーンソーアート

1本の丸太からチェーンソーを駆使し、ダイナミックかつスピーディーに繊細な作品を作り上げる様子は「チェーンソーを使った彫刻」といえます。やり直しができない一発勝負のアートは、見ごたえがあります。

☎ 0536-76-1199 <http://orange.jp/chainsawart/>
 ⑧ 愛知県立芸術家交流センター



電照菊

昼夜に浮かび上がる電照菊の温室群は幻想的で、まさに不夜城といった趣です。愛知県で始まった電照栽培により、菊の開花時期を調整することができるようになり、周年出荷が可能となりました。愛知県は全国の約3分の1の出荷量を誇る菊の大産地となっています。(写真は10月上旬から11月上旬)
 ⑧ 愛知県農業振興局



アサクラスマートボール

香川県前にあり、香板からは昭和30年代の香りが漂い出てくるようです。昔の温泉湯にはよくあった遊びでしたが、最近では大阪の新世界など一部の地域でしか見られなくなってしまいました。
 ☎ 0332-55-6733
 ⑧ 愛知県豊橋市東町1-12
 ⑨ 10:00-17:00 年中無休



ヘボサミット

奥三河地方には、ヘボと呼ばれるクロズメバチなど地味の子や駒を食べる食文化があります。ヘボサミットは年に1回愛好会が集まり菓の愛さなどを競うユニークなイベントです。新城市では10月、設楽町と東栄町では11月に開催されます。



奥三河食彩フェスタ

奥三河の食をテーマに、田名倉中学校跡地で開催されます。とれたて農作物や特産品の直売コーナー、地域の伝統食や飲食ならではの味を気軽に楽しめる舞台がオープン！様々な体験コーナーやイベントなど楽しい催しも盛り沢山！高原で過ごす、心地よい夏の1日が楽しめます。

☎ 0534-63-3004 <http://fobemo.com/>
 ⑧ 愛知県の伝統的産業振興推進センター(山) ⑨ 入場無料



蒲郡(温室)みかん

蒲郡温室みかんは、品種を宮川早生に統一し、高い糖度と程よい酸味を兼ね備えたみかんの中のみかんです。特許庁が認可する地域団体商標(地域ブランド)に、「蒲郡みかん」が県内農産物で初めて登録されました。
 ☎ 0533-68-6631 <http://www.ja-amagasaki.or.jp/>



いのしし肉

臭い、硬いなどの固定概念を破る奥三河特産の肉。古くから「山鯨」と称され滋養強壮の食材として珍重されてきました。ぼたん漬やウインナーがお薦めです。



とまテル

「田名倉産の新鮮な実を使用した100%のトマト果汁100%の純果汁」を加えて、最後にノンシュガーフルーツ果汁を加えたトマテル。めろんハート。マスカドンのフレーバー感を残しながら、パンチフルーティの爽やかな風味もイメージさせ、まるでフレッシュな果実をそのまま食べているような感覚のノンシュガーです。

☎ 0531-22-4551 <http://www.tomater.com/>
 ⑧ 田名倉町北山1-41 ⑨ 愛知県市内の産物直売所と通販で購入可能

極奥三河



【極・奥三河】は、シニアを対象とした地域体験・職業体験プログラムです。奥三河を知り尽くし、社を極めた名人たちがナビゲートしますので、魅力満々の奥三河に、ぜひ遊びに来てください！

⑨ 各自治体主催プログラムは、要らぬ限り代り貸借する予定です。

お問い合わせ先
 奥三河地域振興局事務局(豊橋市)地域連携課
 ☎ 0532-51-2141
<http://www.kokusei.or.jp/kyokusei/>
 専用ホームページでは、各自治体主催プログラムの様子や募集に詳しくしています。ぜひご覧ください。



遠州の巻

たきや油

春から秋にかけて夜の名産で、水中灯を船先にともし、紙や網でカニやさかな、エビを獲るスリルある楽しい漁です。獲れたての新鮮な魚介類をつかった料理は最高。

☎ 053-592-2260
<http://www.takiyayu.jp/>
 ⑧ 静岡県浜松市浜区浜島町内丸3085-3
 ⑨ 予約なし。料金はホームページをご覧ください。



山肉料理

魚元で獲れた鱈、真などの料理。お店により食べ方やタレの味が違うので、それぞれの味わいを楽しめるのもお薦めです。



遠州灘天然とらふく

冬になったら一度は食べたい海の味覚の王様。「天然もの内約6割が遠州産」といわれるほどの逸品。御山守温泉ではとらふく祭りも開催されます。



よこすかしろ

地場の砂浜キビを昔ながらの手製で絞り、精液を長時間煮詰めて造られます。白砂糖に比べ、たんぱく質やカルシウム、鉄分、カリウムなどの栄養素が豊富です。



池田・熊野の長藤まつり

平安時代の女流歌人熊野御前の愛でた藤が行楽寺に残っています。「藤の花」の園花にあわせ行楽寺に隣接する熊野伝統芸能館と、その周辺で開催されます。

⑧ 熊野町熊野町内 ⑨ 4月下旬～5月9日

東海道とまん中茶屋

初代広重が描いた「東海道五十三次・袋井田舎屋ノ図」をモチーフに袋井宿の東入口に建てられました。年中無休で湯茶のおもてなしが受けられます。

☎ 0530-44-0395
 ⑧ 静岡県袋井市袋井220
 ⑨ 9:00-17:00



重要文化財中村家住宅

重要な武家住宅を体感できる徳川家康次男結城秀康の生家。3000平米の敷地内には、重要文化財に指定された主屋、長屋門、主屋脇の於義丸(後の結城秀康)の塼衣(瓦女=後扉)を埋めた塼衣塚が残されています。

☎ 053-394-5585
 ⑧ 静岡県浜松市浜区御幸町字内丸4912-1
 ⑨ 9:30-16:30(土・日・祝日は休館)
 ⑩ 拝観料なし。200円/中学生以下：無料



飯田市川本喜八郎人形美術館

高い芸術性を備えた人形アニメーションを生み出し、NHK人形劇「三国志」などで多くのファンを魅了した人形師川本喜八郎が「人形たちに一番ふさわしい場所」と、「三国志」「宇平物語」などの人形を飯田市へ寄贈しました。飯田市は「人形朝のまち」の新たな拠点施設として、交流人口の創出や人形文化の振興を目的とした美術館を建設。2007年3月に開館して川本氏は館長に就任しました。



TEL 0265-23-3594 <http://www.city.kitaig.jp/kowamono/> 長野県飯田市 9:30~18:30 (入館は18:00まで) / 毎週日曜休館 料(一般) 大人 400円 中学生・小学生 200円 幼児 100円



南信州グルメサミット

南信州は豊かな自然と数多くの食文化に恵まれ、様々な食の文化が発達しています。これらの味を多くの方に知っていただくチャンスをお逃しなさいと思いいサミットを開催しています。馬、イノシシ、鹿、普段あまり食べる機会のない食材も多数あり、新たな調理法など、発見も多数！餅の子、ザザムシなどは話のネタや変わったお土産にもなりそうです。

TEL 0265-24-1234 <http://www.idooc.or.jp/>

鹿塩の塩泉

なぜ、山深いアルプスの麓に海水のように塩辛い温泉が湧くのか、その原因は未だに謎に包まれています。鹿塩温泉入口の特産品販売所「塩の里」ではこのロマン溢れる塩泉から昔ながらの手法で山塩を作っており、山塩作りを実際に見ていただくこともできます。山塩はミネラル分が豊富で、なめてもしょっぱさに角がありません。この塩で熱々のおにぎりを握ると絶品です。



TEL 0265-23-2282 <http://www.23pweb.com/mcause/miyweb/001.htm> 長野県下伊那郡大井町塩原 9:00~17:00 / 入館無料 料(温泉) 大人 300円 小学生 150円 幼児 70円

町並みと蔵展

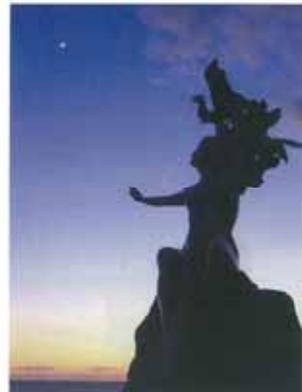
秋葉街道の町並みを残す中心市街地の古い木造建築や蔵がギャラリーなどとして開放されます。毎年、春・秋の2回開催され、人力車による町並み散歩も好評のイベントとなっています。



治郎柿

今より160年前森町に住む松本治郎さんが大田川の洪水で流れた柿の幼木を植えたのが始まりと言われる治郎柿。原水の地からは毎年、皇室へ献上も行われています。

TEL 0265-23-2282



御前崎ケープパーク

テーマは「海と大地の調和」。御前崎灯台から展望台「夕日と風がみえるん台」まで徒歩約10分、1.5kmにおよぶロマンチックな遊歩道からは、展望台、広場、四季折々の草花と絶大な海が楽しめます。御前崎ケープパーク内にある「雨後の虹」は「恋人の聖地」として認定されています。遊歩道のはか周辺のドライブも人気です。

TEL 0546-63-2001



掛川花鳥園

花の中で鳥と遊べるテーマパーク。さまざまな植物、熱帯性スイレンが一年中咲き誇る中で、インコ、フクロウ、オオハシなどの鳥とふれあえます。

TEL 0537-62-6363 <http://www.komoto.co.jp/flower/> 長野県掛川市西高家1517 料(料金はホームページをご覧ください)

遠州灘海岸のアカウミガメ

毎年5月下旬から8月にかけて産卵のためにウミガメが上陸します。



ほおずき栽培

高山郷の夏の風物詩。お盆のお供え花として主に中京圏方面へ出荷されます。みなみ信州産ほおずきは、15年ほど前に導入され栽培されるようになったものです。今では100名の生産者が取り組んでおり、その品質の良さは、市場での評価も高くなっています。



五平餅

ご飯を多少残る程度につぶしたものをわらじ型もしくは団子型に成形し、串に刺して焼きます。味噌や醤油をベースに、胡麻や山椒、山椒の芽などを加えたたれを付けて食べます。江戸時代の中頃、わらじ型の五平餅を、ふたつの団子状に刺した、いわゆる「餅屋型」としたものが、飯田の五平餅として今に伝えられています。お店や家庭によって味が違うので、食べ比べも楽しいですね。



ねぎだれ

信州飯田の居酒屋でおいでに使われたことが始まりといわれています。いつしか飯田の家産では当たり前のように使用されるようになり「飯田の味」となりました。ねぎを醤油やみりんなどの調味料で味付けしただけのシンプルさゆえ、冷や飯、から揚げなど用途は広く、各家庭で食べ方はさまざまです。伝統ではなく、純粋な「味」で地域の味として根付いています。

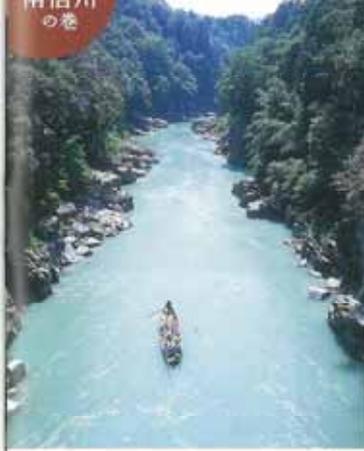


半生菓子

かつて「信州の小京都」と呼ばれていた南信州では、お茶と和菓子の文化が広えられてきました。四季折々の花々にみたてたものや昔懐かしい素材の味など、多彩な和菓子がそろっています。形や名前の由来、いわれ等を知ると、さらにおいしく感じられるかもしれません。

信州菓子屋中：飯田市南辺には、信州菓子屋が多く伝承されています。その菓子屋をモチーフとした、13の和菓子屋で共同開発した商品です。

南信州の巻



名勝天龍峡

EJF時代以来多くの文化人らに愛された名勝です。川下りの舟からは春岩瀑音が響き、春のツツジや山ザクラ、秋の紅葉、冬の雪景色など四季それぞれに美しい自然を堪能できます。遊歩道散策、川下り、いろんな角度から圧倒的な景観をお楽しみください。

TEL 0265-27-2946 <http://www.tenryu.com/>



大明神淵 ポットホール

日本一のポットホールを有する三段の淵からなる明神淵。平成16年、村内のアマチュア写真家によって発見されました。

TEL 0265-23-2282

しらびそ高原

標高約1,900mの高原にある南アルプスの大パノラマ。「ハイランドしらびそ」からの眺めもよく3,000m級の山々を周辺に感じることができます。近くには日本で初めて確認された「御池山崩石クレター」があります。

TEL 0260-36-2211 <http://www.shirabiso.com/>



茶白山高原

春夏秋冬、美しい自然の魅力にあふれた場所です。また動物とのふれあい、四季折々のイベント、雄大なアルプスの眺望など、家族みんなが楽しめます。

TEL 0265-23-2282



知られざる三遠南信の魅力「自然・文化・産業・イベント」

知られざる三遠南信の魅力「自然・文化・産業・イベント」

祭・催事

月	日	祭名	開催地
1月	4日	のんぱいふりつり	新城市
	5日	のんぱいふりつり	新城市
	10日	湯島村まつり	湯島町
	11日	湯島村まつり	湯島町
	12日	湯島村まつり	湯島町
	13日	湯島村まつり	湯島町
	14日	湯島村まつり	湯島町
	15日	湯島村まつり	湯島町
	16日	湯島村まつり	湯島町
	17日	湯島村まつり	湯島町
2月	1日	湯島村まつり	湯島町
	2日	湯島村まつり	湯島町
	3日	湯島村まつり	湯島町
	4日	湯島村まつり	湯島町
	5日	湯島村まつり	湯島町
	6日	湯島村まつり	湯島町
	7日	湯島村まつり	湯島町
	8日	湯島村まつり	湯島町
	9日	湯島村まつり	湯島町
	10日	湯島村まつり	湯島町
3月	1日	湯島村まつり	湯島町
	2日	湯島村まつり	湯島町
	3日	湯島村まつり	湯島町
	4日	湯島村まつり	湯島町
	5日	湯島村まつり	湯島町
	6日	湯島村まつり	湯島町
	7日	湯島村まつり	湯島町
	8日	湯島村まつり	湯島町
	9日	湯島村まつり	湯島町
	10日	湯島村まつり	湯島町
4月	1日	湯島村まつり	湯島町
	2日	湯島村まつり	湯島町
	3日	湯島村まつり	湯島町
	4日	湯島村まつり	湯島町
	5日	湯島村まつり	湯島町
	6日	湯島村まつり	湯島町
	7日	湯島村まつり	湯島町
	8日	湯島村まつり	湯島町
	9日	湯島村まつり	湯島町
	10日	湯島村まつり	湯島町
5月	1日	湯島村まつり	湯島町
	2日	湯島村まつり	湯島町
	3日	湯島村まつり	湯島町
	4日	湯島村まつり	湯島町
	5日	湯島村まつり	湯島町
	6日	湯島村まつり	湯島町
	7日	湯島村まつり	湯島町
	8日	湯島村まつり	湯島町
	9日	湯島村まつり	湯島町
	10日	湯島村まつり	湯島町
6月	1日	湯島村まつり	湯島町
	2日	湯島村まつり	湯島町
	3日	湯島村まつり	湯島町
	4日	湯島村まつり	湯島町
	5日	湯島村まつり	湯島町
	6日	湯島村まつり	湯島町
	7日	湯島村まつり	湯島町
	8日	湯島村まつり	湯島町
	9日	湯島村まつり	湯島町
	10日	湯島村まつり	湯島町
7月	1日	湯島村まつり	湯島町
	2日	湯島村まつり	湯島町
	3日	湯島村まつり	湯島町
	4日	湯島村まつり	湯島町
	5日	湯島村まつり	湯島町
	6日	湯島村まつり	湯島町
	7日	湯島村まつり	湯島町
	8日	湯島村まつり	湯島町
	9日	湯島村まつり	湯島町
	10日	湯島村まつり	湯島町

月	日	祭名	開催地
7月	1日	湯島村まつり	湯島町
	2日	湯島村まつり	湯島町
	3日	湯島村まつり	湯島町
	4日	湯島村まつり	湯島町
	5日	湯島村まつり	湯島町
	6日	湯島村まつり	湯島町
	7日	湯島村まつり	湯島町
	8日	湯島村まつり	湯島町
	9日	湯島村まつり	湯島町
	10日	湯島村まつり	湯島町
8月	1日	湯島村まつり	湯島町
	2日	湯島村まつり	湯島町
	3日	湯島村まつり	湯島町
	4日	湯島村まつり	湯島町
	5日	湯島村まつり	湯島町
	6日	湯島村まつり	湯島町
	7日	湯島村まつり	湯島町
	8日	湯島村まつり	湯島町
	9日	湯島村まつり	湯島町
	10日	湯島村まつり	湯島町
9月	1日	湯島村まつり	湯島町
	2日	湯島村まつり	湯島町
	3日	湯島村まつり	湯島町
	4日	湯島村まつり	湯島町
	5日	湯島村まつり	湯島町
	6日	湯島村まつり	湯島町
	7日	湯島村まつり	湯島町
	8日	湯島村まつり	湯島町
	9日	湯島村まつり	湯島町
	10日	湯島村まつり	湯島町
10月	1日	湯島村まつり	湯島町
	2日	湯島村まつり	湯島町
	3日	湯島村まつり	湯島町
	4日	湯島村まつり	湯島町
	5日	湯島村まつり	湯島町
	6日	湯島村まつり	湯島町
	7日	湯島村まつり	湯島町
	8日	湯島村まつり	湯島町
	9日	湯島村まつり	湯島町
	10日	湯島村まつり	湯島町
11月	1日	湯島村まつり	湯島町
	2日	湯島村まつり	湯島町
	3日	湯島村まつり	湯島町
	4日	湯島村まつり	湯島町
	5日	湯島村まつり	湯島町
	6日	湯島村まつり	湯島町
	7日	湯島村まつり	湯島町
	8日	湯島村まつり	湯島町
	9日	湯島村まつり	湯島町
	10日	湯島村まつり	湯島町
12月	1日	湯島村まつり	湯島町
	2日	湯島村まつり	湯島町
	3日	湯島村まつり	湯島町
	4日	湯島村まつり	湯島町
	5日	湯島村まつり	湯島町
	6日	湯島村まつり	湯島町
	7日	湯島村まつり	湯島町
	8日	湯島村まつり	湯島町
	9日	湯島村まつり	湯島町
	10日	湯島村まつり	湯島町



観光インフォメーション お問い合わせ先

エリア	市町村	名称/担当課	TEL	URL
東三河	豊橋市	豊橋観光コンベンション協会	0532-54-1484	http://www.konkon.or.jp/~kyobashi/
	豊川市	豊川市観光協会	0533-89-2206	http://www.toyokawa-nagano.jp/
	岡崎市	岡崎市観光協会	0532-48-2528	http://www.gunagun.jp/
	新城市	新城市観光協会	0534-35-0032	http://shinshin-kankou.com/
	田原市	田原市観光協会(西ノ観光圏内)	0531-33-3316	http://www.tahara-kankou.jp/
	緑野町	緑野町観光協会(東三河内)	0534-62-1000	http://www.shirakawano-shi.nagano.jp/
	岡家町	岡家町観光協会	0534-76-1812	http://www.tokunaga.jp/
	豊橋村	豊橋村観光協会	0534-87-2323	http://www.konkon.or.jp/~toyocv/
	浜松市	浜松観光インフォメーションセンター	053-452-1634	http://hannamaweb.com/
	豊田市	豊田市観光協会	0538-33-1223	http://hokuto.visitnagano.jp/
遠州	藤枝市	藤枝市観光協会	0538-44-3154	http://www.city.fukuroi.shizuoka.jp/
	浜松市	浜松市商工建設課	053-576-1230	http://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/
	西沢町	西沢町観光協会(東三河内)	0538-85-6319	http://www.zenon.com/machi/shizuoka.jp/index.html
	掛川市	掛川観光案内所	0120-70-0080	http://www.wbna.jp/~kakegawa/
	豊川市	豊川市商工建設課	0537-35-0937	http://www.city.kakegawa.shizuoka.jp/
	岡崎市	岡崎市観光協会	0548-63-2001	http://www.wbna.jp/~okazaki/
	磐田市	磐田市観光協会	0546-53-2623	http://www.tokuhokanai-kankouyokan.com/okajp/
	豊田市	豊田観光協会	0265-22-4851	http://www.city.toyota.jp/
	豊川市	観光センター(丸い)	0265-34-7094	http://www.city.toyokawa.jp/~seno/kyokai/index.html
	高島町	高島町観光協会	0265-35-9405	http://www.town.takamori.nagano.jp/
南信	岡谷市	岡谷市観光協会	0265-22-4553	http://www.town.oyama.nagano.jp/
	岡谷市	岡谷市観光協会	0265-43-2220	http://www.wbna.jp/~okayama/
	早谷村	早谷村観光協会(東三河内)	0265-48-2211	http://www.gka.or.jp/
	豊田村	豊田村観光協会	0265-49-2111	http://www.town.aburahi.jp/
	下郷村	下郷村観光協会	0265-32-2311	http://www.wbna.jp/~shogou/
	豊木村	豊木村観光協会	0265-28-2311	http://www.town.tomiya.jp/
	天来村	天来村観光協会	0265-33-2001	http://www.wbna.jp/~tenrai/
	豊田村	豊田村観光協会	0265-26-2111	http://www.wbna.jp/~toyota/
	南木村	南木村観光協会	0265-33-2001	http://www.wbna.jp/~nanki/
	豊田村	豊田村観光協会	0265-34-2520	http://www.wbna.jp/~toyota/
南信	大井町	大井町観光協会	0264-39-2001	http://www.wbna.jp/~oi/
	御代田町	御代田観光協会	0264-81-7700	http://www.hokuto.visitnagano.jp/



三遠南信地域が目指す姿

三遠南信地域と三遠南信地域連携ビジョン

三遠南信地域は、人口約二百三十万人、豊かな地域資源や多様な自然環境、特色ある歴史・文化など、都道府県にも匹敵する大きなポテンシャルを有しています。

この三遠南信地域は、かつて河川や街道を介して密に交流が行われた歴史があることから、古くからの結びつきが強く、現在でも協力を重ね、重要文化・教育分野などで様々な連携や住民交流が行われています。

平成二十年三月には、道庁制や国土形成計画など国の地政学・制度の検討が進められるなか、地域住民をはじめ、大学、経済界、行政など地域の発展を願う関係者の会合の下、地域振興の担手となる「三遠南信地域連携ビジョン」を策定しました。

この「三遠南信地域連携ビジョン」では、地域の将来像を「三遠南信二百五十万規模の都市圏」として、行政、経済、住民団体的など様々な分野の交流・連携を一歩踏み出した、高い価値を有する圏域の形成を目指しています。

今後三遠南信自動車道や新東名高速道路の整備や住民交流の基盤が期待される地域です。

三遠南信地域連携ビジョン推進会議のご紹介

三遠南信地域連携ビジョン推進会議(連絡協議会)は、三遠南信地域の発展を目的として設立された三遠南信地域連携ビジョン推進のための組織として平成20年11月に立ち上げられました。

連絡協議会は、三遠南信地域内の市町村、商工会議所・農工商等で開催されています。

三遠南信地域連携ビジョン推進会議(SENA)事務局
〒431-6632 静岡県浜松市中区元城町103-1 浜松会館内(本館3階) / TEL:053-457-2242 / FAX:053-457-2248
E-mail:senavision@senavision.jp / SENAVISION WEB SITE <http://www.sena-vision.jp/>

さんえんなんしん
三遠南信

未だ見ぬ、
 知られざる世界へ



① 手筒花火 (愛知県豊橋市)
 テフツはなび
 燃え盛る火柱、轟く爆音、降りかかる水の輪をもものとせず、男たちが夜空を飾ります。この勇壮な手筒花火は、全国的にも古い歴史をもち、東三河の夏の風物詩となっています。



花祭り (愛知県東栄町)
 はなまつり
 花祭りは、古くは鎌倉・室町時代から受け継がれる伝統の祭りです。かがり火を前に夜通し行われる舞いには、五穀豊穡を願う人々の祈りが込められています。



② 見付天神裸祭 (静岡県静岡市)
 みつけてんじんはだかまつり
 正暦4(993)年菅原道真公勧学を祝う舞が起源とされている重要無形民俗文化財です。



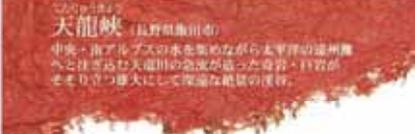
たきや漁 (静岡県浜松市)
 たきやうり
 船の先端にともした水中灯に集まってくるカニや甲殻類、魚などをモリで集く漁法です。



市田柿の柿すだれ (長野県高森町)
 しちだに柿の柿すだれ
 信州の秋の風物詩。民家の利便はすだれ杖に用いられる柿は、秋の日差しと暑い河原を呼び、さわやかな甘味を待つ下し柿へと変わります。



秋葉神社火まつり (静岡県浜田市)
 あきはばらまつり
 古くから火防信仰を始めた栗山の秋葉山で行われる「火まつり」では、稲刈りの祝い、火の神の神事が古来より、秋の収穫に祈り込められています。



天龍峽 (長野県飯綱町)
 てんりゅうきょう
 中央・北アルプスの水を集めながら太平洋の遠州海へたどり着く天龍川の急流が激った身岩・巨岩がそそり立つ雄大にして深遠な絶景の湧存。



三遠南信地域の中心部、観光情報は下のURLからご覧ください。



三遠南信地域のご紹介
 さんえんなんしん
 愛知県東部の東三河地域を「三」、静岡県西部の遠州地域を「遠」、長野県南部の南信州地域を「南信」とした3県の県境にまたがる三遠南信地域は、日本の屋根と呼ばれる中央・南アルプスをはじめ、悠然と流れる大河や風光明媚な湖、美しい海岸線を持つ太平洋沿岸部まで、標高差三、〇〇〇mの中に日本様々な地形が凝縮された地域です。古くからこの地域では、「東海道」や「塩の道」(塩や生糸の流通)、「秋葉街道」(秋葉神社の信仰)など、東西を結び、南北に繋がる街道と「天竜川・豊川の水運」を介して、人々が行き交い、物流や文化的交流が盛んに行われてきました。

今もここには、古より受け継がれてきた民俗芸能の「花祭り」や地域独特の伝統文化の「たきや漁」、また気候風土が育んだ郷土食の「市田柿」などの多種多様な地域資源が存在し、固有の文化が息づいています。

今、全国から注目されている三遠南信地域をご堪能ください。

三遠南信 エリア情報

<http://www.san-en-nanshin.jp/>

三遠南信地域連携ビジョン推進会議

<http://www.sena-vision.jp/>

◆お問い合わせ先：三遠南信地域連携ビジョン推進会議 (SENA) 浜松市企画課内
 TEL:053-457-2242 E-mail:sena@clear.ocn.ne.jp